

## 2024年度活動概要

## 会話分析研究会

2024年7月に発足した関西支部に会話分析研究会では、「会話分析を用いた英語教育及び応用言語学研究の促進」をテーマとして活動しました。

研究会を各月1回を目処に定期的にオンラインで開催し、Mondada, L., & Peräkylä, A. (2023). *New Perspectives on Goffman in Language and Interaction* (Routledge) を対象とした輪読会を開催し、会話分析と周辺分野に関する最新理論の調査を進めました。輪読会と並行して、研究会では会員の持ち寄ったデータを分析するデータセッションも行い、会員間のデータ分析技術の研鑽を進めました。今年度に分析対象としたデータの内容は、アメリカ議会公聴会における委員と証人とのやり取り、英語口頭能力インタビューテストにおける試験員と受験者とのやり取り、大学英語授業における学生間の英語でのやり取りになります。

定例の研究会に加えて2月には神戸大学のTim Greer教授を招き、補助金等を利用して、オンラインで講演会を実施しました。『Participation, Membership, and Interactional Competence』と題した講演会はたいへんな盛況で、参加者の評価も高く、今後も国内外の著名な会話分析研究者を招いた講演会を続けていきたいと考えています。

これらの活動は研究会HP (<https://sites.google.com/view/jacet-conversation-analysis/>) に掲載し、定期的な情報発信を行っています。